

2007年度石油学会「学会賞」の受賞について ～環境に優しい次世代エンジン油の開発が評価される～

当社(社長:西尾 進路)は、「ZDTP(ジアルキルジチオリン酸亜鉛)*1の代替技術による長寿命および触媒低被毒性エンジン油の開発」の技術について、社団法人石油学会から2007年度「学会賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。

社団法人石油学会は、石油・天然ガス開発、石油・石油化学工業などについて産学両面にわたって幅広く活動を行っている国内で唯一の「石油」に関する学会で、1958年に設立されました。学会賞は、石油、天然ガスおよび石油化学工業に関連する機械および装置について、総合的な技術開発を行い、その業績が工業上特に顕著な功績のあったものに与えられる賞で、当社は潤滑油技術では初の受賞となります。

エンジン油には半世紀以上にわたり、ZDTPが主要添加剤として使用されていますが、当社は、この添加剤に含まれる硫黄(サルファー)分がエンジン油の環境性能に悪影響を及ぼすことを見出しました。

そこで、新たに硫黄分を使わないサルファーフリーの添加剤であるZP(アルキルリン酸亜鉛)*2を開発しました。これは、従来の添加剤よりも、エンジン油の長寿命化、自動車の省燃費性向上、排出ガス浄化触媒の性能低下抑制などに効果が高く、自動車の環境性能向上に大きく貢献いたします。

今回は、このZP添加剤を用いた長寿命および触媒低被毒性エンジン油の開発における当社の実績を高く評価していただき、学会賞の受賞となりました。本技術を活用した次世代エンジン油は、すでにコジェネ機器のエンジン用潤滑油として商品化されておりますが、今後は自動車用エンジン油でも商品化を進めてまいります。

当社は、行動指針として「New ideas(新しい発想)」、「Environmental harmony(地球環境との調和)」を掲げており、今後もたえず新しい発想で未来に挑戦し、地球環境と調和したビジネスを創造することで、人々から最も支持される総合エネルギー企業を目指してまいります。

※1: 摩耗防止剤、酸化防止剤として機能する潤滑油用添加剤。

※2: 当社が新たに開発した、ZDTPに含まれる硫黄を酸素に置き換えたサルファーフリー添加剤。

記

1. 受賞対象: 「ZDTP代替技術による長寿命および触媒低被毒性エンジン油の開発」

2. 受賞者:

五十嵐 仁一(中央技術研究所 潤滑油研究所長)

小宮 健一(中央技術研究所 潤滑油研究所 輸送用潤滑油グループマネージャー)

八木下 和宏(中央技術研究所 潤滑油研究所 輸送用潤滑油グループ)

内田 悟(潤滑油販売部長)

以上